

単体サーバのアップグレード手順 (2020.1 -> 2022.1)

説明

単体サーバでのアップグレード手順(2020.1 -> 2022.1)は以下の通りです。
※パッケージインストールではない場合の手順となります。

重要

- ・ LinuxOSでの作業手順です。
- ・ Helix Coreサーバを起動しているOSユーザが"root"として説明を行っています。
"root"以外のユーザで実行している場合、環境に合わせてコマンド実行ユーザと権限設定をお願いします。ご不明の場合は、作業前にテクニカルサポートまでご連絡ください。

手順

1. Helix Coreサーバの停止

以下のコマンドから、Helix Coreサーバを停止します。

実行コマンド：サーバの停止

```
p4 -p server:port -u super admin stop
```

- ※ `server:port` : アップグレード対象のHelix Coreサーバを指定
- ※ `super` : super権限ユーザを指定

2. チェックポイントの取得

p4dプログラムのバージョンアップを開始する前にチェックポイントを取得します。
チェックポイントを取得するには、以下のコマンドを実行します。

実行コマンド例：チェックポイントの取得

```
p4d -r P4ROOT -jc
```

- ※ `P4ROOT` : 環境に適したパスを指定

3. p4dプログラムのバックアップ

既存のp4dプログラムをバックアップします。
※ここでは、既存のp4dプログラムが/`usr/sbin`に配置されている前提とします。

バックアップコマンド例

```
mv /usr/sbin/p4d /usr/sbin/p4d_20201
```

4. p4dプログラム(Ver.2022.1)のダウンロード

ダウンロードサイトからp4dプログラム(Ver.2022.1)をダウンロードします。
ここでは、p4dプログラムを/`tmp`へダウンロードした例として説明します。

ダウンロードサイト

[Helix Core \(Perforce\) 製品ダウンロード](#)

5. パーミッション設定

ダウンロードしたp4dプログラムへ実行権を追加するため、以下のコマンドを実行します。

パーミッション設定例

```
chmod +x /tmp/p4d
```

6. p4dプログラム(Ver.2022.1)の配置

手順4でダウンロードしたp4dプログラム(Ver.2022.1)を/`usr/sbin`配下へ配置します。

配置コマンド例

```
mv /tmp/p4d /usr/sbin
```

7. p4dバージョンの確認

以下のコマンドを実行し、p4dバージョンがアップグレードされていること、コマンドパスが通っていることを確認します。

バージョン確認コマンド例

```
p4d -V
```

期待する結果

```
...  
Rev. P4D/LINUX26X86_64/2022.1/2305383 (2022/06/28).  
License: none
```

8. Helix Coreデータベースの更新

以下のコマンドを実行して、Helix Coreデータベースを更新します。

データベーススキーマ更新コマンド例

```
p4d -r P4ROOT -xu
```

※ P4ROOT : 環境に適したパスを指定

期待する結果

```
Upgrades will be applied at server startup.
```

9. Helix Coreサーバの起動

通常手順でHelix Coreサーバを起動します。

起動コマンド例

```
p4d -r P4ROOT -p 1666 -L log -v server=3 -d
```

※ P4ROOT : 環境に適したパスを指定

10. Helix Coreバージョンの確認

以下のコマンドを実行し、起動中のHelix Coreサーババージョンがアップグレードされていることを確認します。

バージョン情報確認コマンド例

```
p4 -Ztag info
```

期待する結果

```
...  
serverVersion P4D/LINUX26X86_64/2022.1/2305383 (2022/06/28)
```

アップグレード手順は以上です。